

教員養成の理念及び養成する教員像

(教員養成の理念)

本学の建学の精神であるキリスト教主義に基づく人格形成を基盤とし、幼児・児童・生徒に対する深い慈愛の精神を持ち、幅広い教養を基礎とした専門的知識・技能を身につけ、教育に携わるために必要となる専門的力量と実践的指導力を備えた教員を育成する。

(養成する教員像)

教員に必要とされる知識・技能、実践力を修得した上で、冷静な判断力と決断力をもって自己のライフキャリアを探求するための「ぶれない個」を確立し、人々の多様な価値観や文化的背景を理解する「多様性」及び寛容な心をもって幼児・児童・生徒の最善の利益のために学校、家庭、地域社会の人々と協働する「寛容と協働」の精神を有する教員を理想として、その養成に努める。

(教職課程修了時の資質・能力)

各教職課程における修了時の学生の資質・能力に関する方針は、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）として下記の通り定める。

【初等教職課程のディプロマ・ポリシー】

DP1（ぶれない個）

保育・教育に関する専門知識および技能を身につけ、自己のライフキャリアの確立をめざすことができる

DP2（多様性）

子どもや、自己を含む子どもを取り巻く人々の価値観・文化的背景等の多様性を理解し、地域・社会の中で共生をめざす態度を持つことができる

DP3（寛容と協働）

子どもの最善の利益のために他者と協働する力を身につけ、寛容の精神をもって、専門性を生かしながら地域・社会の課題の解決に貢献していくことができる

【中等教職課程のディプロマ・ポリシー】

DP1（ぶれない個）

教員としての専門的知識、技能、力量、資質を身に付けた上で、教育に対する使命感を確立し、教育者としてのライフキャリアを探求することができる

DP2（多様性）

児童生徒一人ひとりの多様な価値観・生き方を受容し、教育的愛情をもって支援することができる

DP3（寛容と協働）

寛容の精神をもって、学校、家庭、地域社会の人々と協働しながら教育の目的を達成するために努力することができる